

ウィークリー・マーケット・レポート

2015年8月24日

✓ 外国為替市場

	通貨	8月21日	前回基準日	騰落率
		祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載		
主要国	米国・ドル	122.04	124.24	-1.77%
	ユーロ	138.93	136.24	+1.97%
	英国・ポンド	191.52	192.46	-0.49%
	カナダ・ドル	92.54	94.64	-2.22%
	オーストラリア・ドル	89.29	92.16	-3.12%
	ニュージーランド・ドル	81.57	82.31	-0.90%
新興国	ブラジル・レアル	34.874	35.408	-1.51%
	メキシコ・ペソ	7.183	7.689	-6.57%
	トルコ・リラ	41.803	44.688	-6.46%
	南アフリカ・ランド	9.409	9.845	-4.43%
	インドネシア・ルピア※	0.876	0.917	-4.47%
	中国・人民元	19.106	20.004	-4.49%

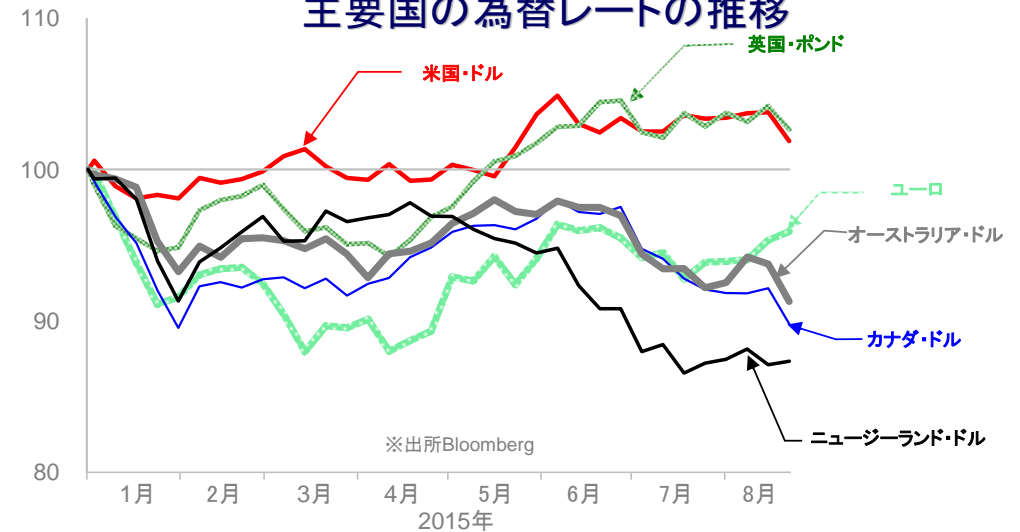
※100外貨あたりの対円レートを表示

📎 マーケットの動き

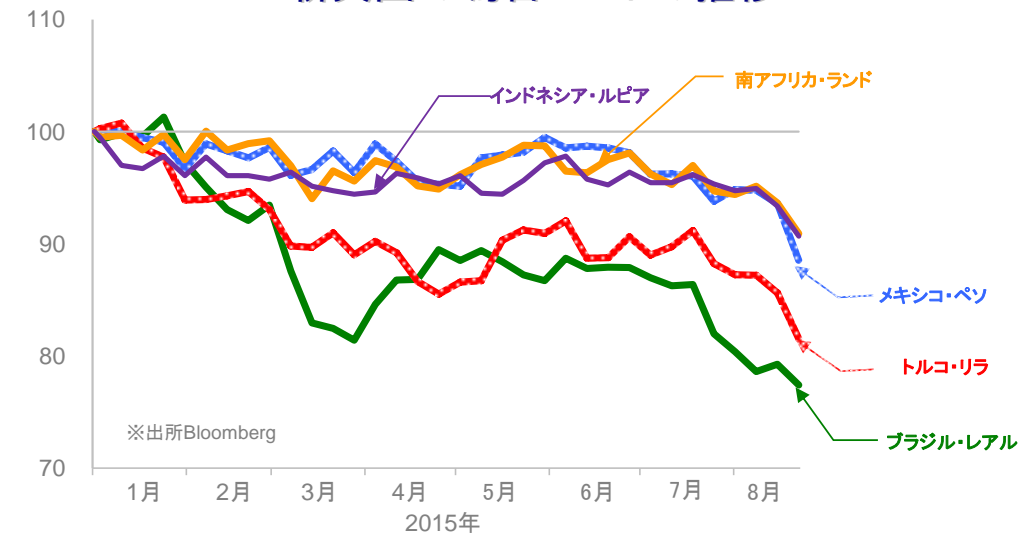
米国では、7月の小売売上高(速報)は市場予想通りの伸びとなり、前月分が上方修正された。8月のミシガン大学消費者マインド指数(速報)は市場予想に反して前月から低下した。7月のFOMC議事録によると、メンバーの利上げ開始に対するやや慎重な姿勢が示された。ユーロ圏では、4~6月期実質GDP成長率(1次速報)が前期から鈍化した。8月の総合PMIIはドイツ製造業がけん引し、前月から上昇した。ギリシャ首相は辞表を提出し、9月の総選挙実施が決定した。日本では、4~6月期の実質GDP成長率(速報値)が個人消費と輸出の低迷が影響し、マイナス成長となった。中国では、7月の貿易統計において輸出が大きく減少し、工業生産の伸びは前月から減速した。8月の製造業PMI(民間調査、速報)が前月から低下した。人民銀行は、中国・人民元の基準値(米国・ドルに対する為替レート)の算出方法の変更を発表し、事実上の切り下げを実施した。主要国通貨、新興国通貨はともに、中国の景気減速に対する警戒感が広がったことから、日本・円やユーロに対して下落

- 米国・ドルは、9月利上げ開始の見方がやや後退したことから下落
- ブラジル・レアルは、財政緊縮が進むとの見方に支えられ、米国・ドルに対して小幅に上昇
- メキシコ・ペソは原油価格の下落、トルコ・リラは連立協議の難航や地政学リスクに対する警戒感から大幅に下落

主要国の為替レートの推移



新興国の為替レートの推移



※各為替レートの2014年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

ウィークリー・マーケット・レポート

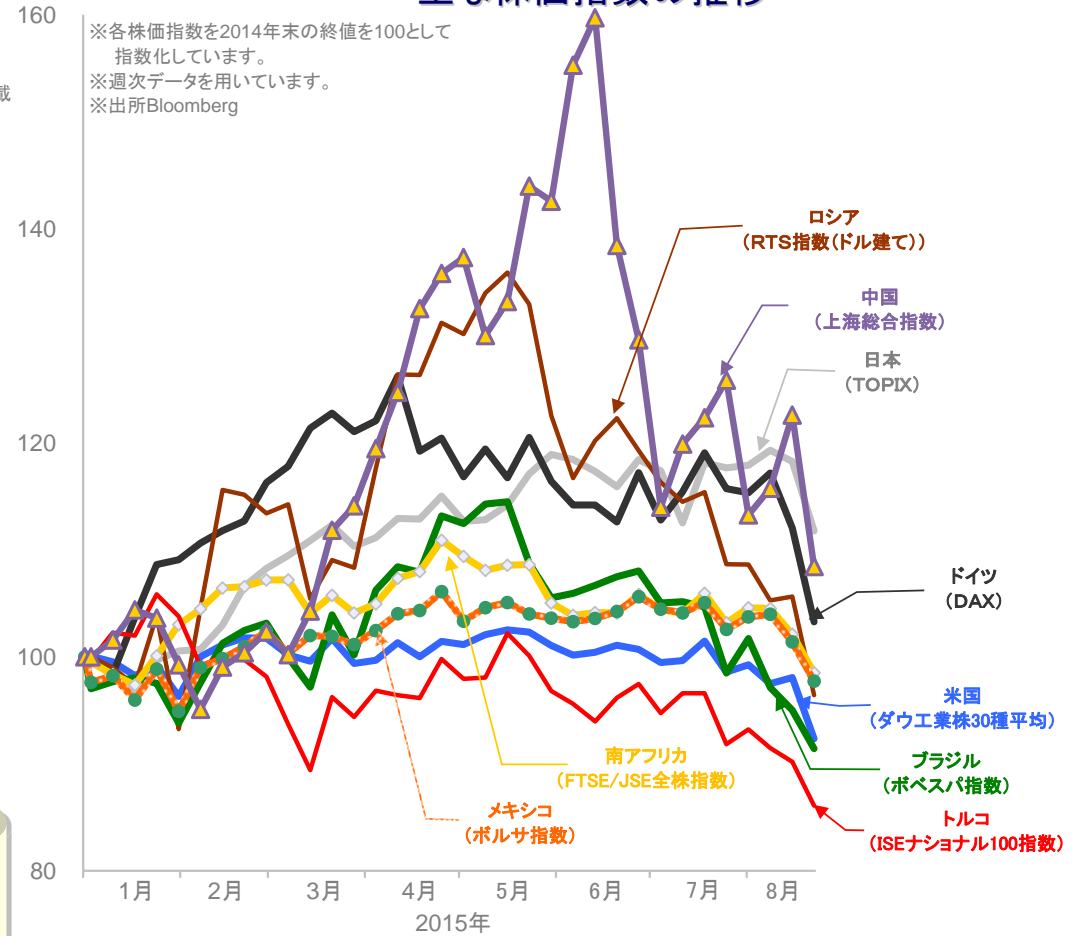
2015年8月24日

株式市場

国	株価指数	2014年末比		
		騰落率(※)	騰落率	
祝日等で休場等の場合には、前営業日との比較を記載				
日本	日経平均株価	-6.22%	11.38%	
	東証株価指数 (TOPIX)	-6.32%	11.76%	
	JASDAQ INDEX	-4.67%	8.18%	
米国	ダウ工業株30種平均	-5.26%	-7.65%	
北米	S&P500	-5.13%	-4.27%	
	ナスダック総合株価指数	-6.69%	-0.63%	
主要国	カナダ	S&Pトント総合指数	-5.80%	-7.92%
	英国	FTSE100	-7.90%	-5.76%
欧州	ドイツ	DAX	-11.89%	3.25%
ほか	フランス	CAC40	-10.16%	8.38%
	イタリア	FTSE MIB	-8.26%	14.38%
	オーストラリア	S&P/ASX200指数	-4.75%	-3.63%
新興国	中国	上海総合指数	-6.32%	8.44%
	韓国	韓国総合株価指数	-6.67%	-2.06%
	香港	ハンセン指数	-8.73%	-5.06%
	台湾	台湾加権指数	-7.76%	-16.33%
	インド	S&P BSE SENSEX	-3.08%	-0.48%
	ロシア	RTS指数(ドル建て)	-8.42%	-3.58%
	トルコ	イスタンブール100種指数	-5.90%	-13.91%
	ブラジル	ボベスバ指数	-5.88%	-8.57%
他	メキシコ	ボルサ指数(IPC)	-6.01%	-2.28%
	南アフリカ	FTSE/JSE 全株指数	-5.74%	-1.49%

※騰落率は前回基準日と今回基準日の各株価指数を比較しています。

主な株価指数の推移



日経平均株価、東証株価指数、JASDAQ INDEX、ダウ工業株30種平均、S&P500及びS&Pトント総合指数及びS&P/ASX200指数、ナスダック指数、FTSE100及びFTSE MIB及びFTSE/JSE 全株指数、DAX、CAC40、上海総合指数、韓国総合株価指数、ハンセン指数、台湾加権指数、S&P BSE SENSEX、RTS指数、ISEナショナル100指数、ボベスバ指数、ボルサ指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ、日本経済新聞社、株式会社東京証券取引所、S&P Dow Jones Indices LLC、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエル エル シー、The NASDAQ OMX Group, Inc.、FTSE社、ドイツ証券取引所、ユーロネクスト、上海証券取引所、韓国取引所、Hang Seng Indexes Company Limited、台湾証券取引所、ボンベイ証券取引所、ロシア取引システム、イスタンブール証券取引所、サンパウロ証券取引所、メキシコ取引所に帰属します。

マーケットの動き

世界の株式相場は、中国景気や人民元の動向に対する警戒感に加えて、原油価格下落の影響もあり、主要国、新興国ともに幅広く下落

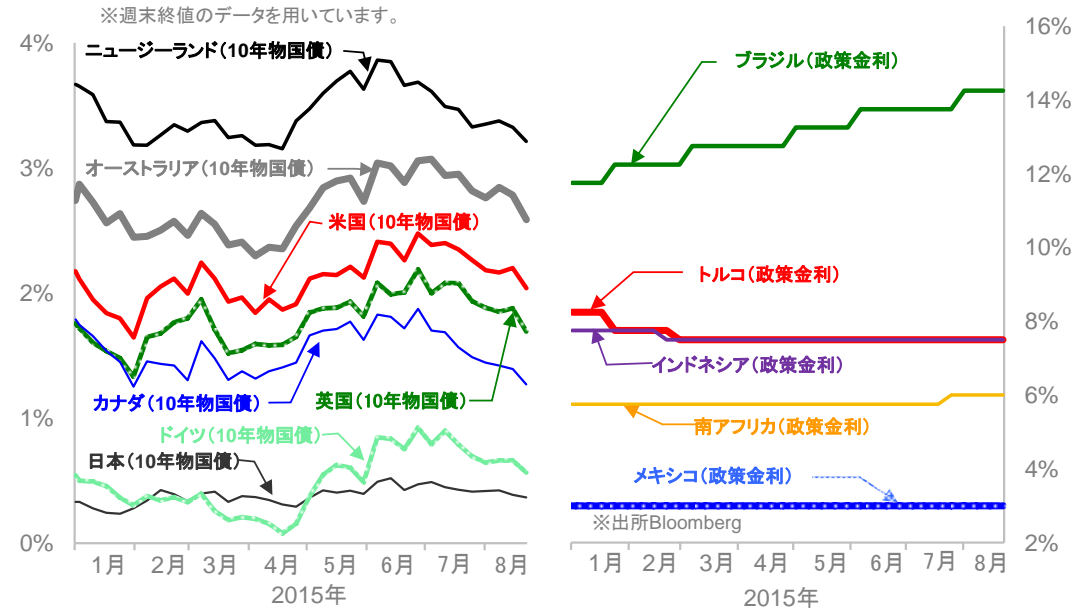
- ユーロ圏では、最近のユーロ高の影響もあり、輸出企業を中心に下落幅を拡大
- 中国では、政府が国有企業の合併を加速させるとの見方などが支援材料となったものの、政府による株価支援ならびに景気刺激策に対する期待が後退したことから下落

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

金利

国	8月21日	前回基準日	差
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
主要国			
日本	0.366%	0.420%	-0.054%
米国	2.037%	2.163%	-0.126%
ドイツ	0.564%	0.661%	-0.097%
英国	1.691%	1.848%	-0.157%
カナダ	1.268%	1.419%	-0.151%
オーストラリア	2.586%	2.843%	-0.257%
ニュージーランド	3.210%	3.374%	-0.164%
新興国			
ブラジル	14.25%	14.25%	±0.00%
メキシコ	3.00%	3.00%	±0.00%
トルコ	7.50%	7.50%	±0.00%
南アフリカ	6.00%	6.00%	±0.00%
インドネシア	7.50%	7.50%	±0.00%

主要国および新興国の金利の推移



REIT、商品市況

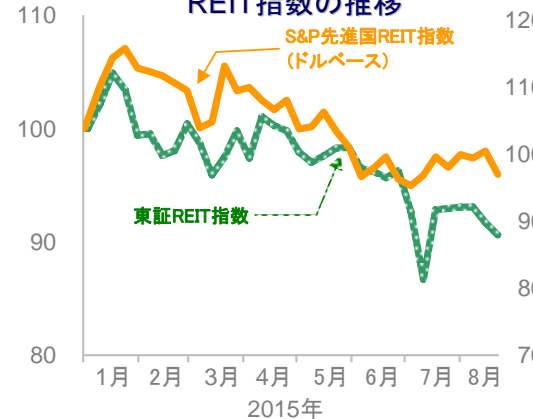
	8月21日	前回基準日	騰落率
祝日等で休場等の場合には、前営業日の数値を記載			
○ REIT			
東証REIT指数	1719.48	1766.44	-2.66%
S&P先進国REIT指数(ドルベース)	244.36	248.08	-1.50%
○ 商品			
WTI原油先物価格(期近物)	40.45	44.36	-8.81%
トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数	191.34	198.32	-3.52%
ニューヨーク金先物(12月限月)	1159.60	1094.10	+5.99%

※ 東証REIT指数、S&P先進国REIT指数、WTI、トムソン・ロイター/ジェフリーズCRB指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利はそれぞれ株式会社東京証券取引所、スタンダード・アンド・プアーズファイナンシャル サービスズエル エルシー、ニューヨーク商業取引所、Thomson Reuters、Jefferies Financial Products,LLCに帰属します。

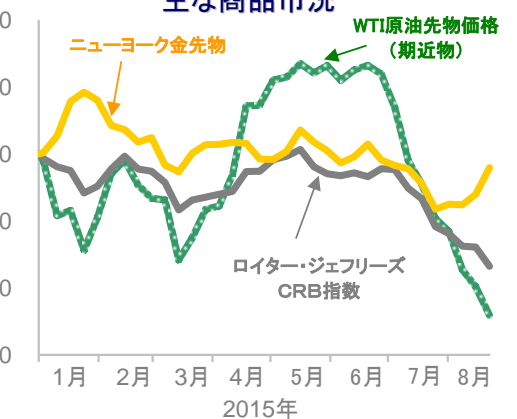
マーケットの動き

- 主要国の長期金利は、中国景気に対する警戒感から低下し、中国との経済関係の強いオーストラリアでは低下幅が拡大
- トルコとインドネシアでは、主要政策金利の据え置きを決定
- 世界のREIT相場は、長期金利の低下に支えられ、小幅の下げにとどまる
- 原油価格は、中国の景気減速に対する警戒感に加えてOPEC増産による供給過剰感もあり、大幅に下落。一方、金価格は底堅く推移

REIT指数の推移



主な商品市況



※各指数は、2014年末の終値を100として指数化しています。※週次データを用いています。※出所Bloomberg

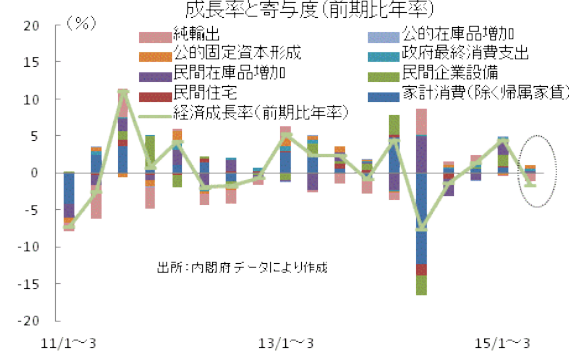
●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。

ウィークリー・マーケット・レポート

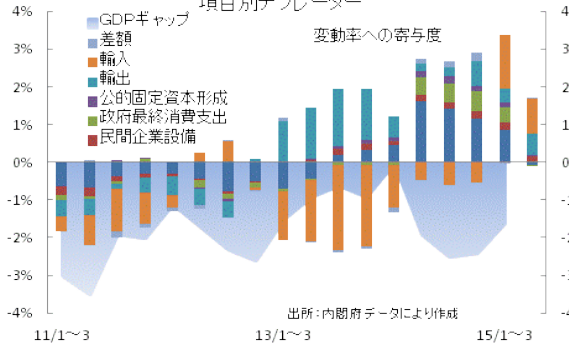
2015年8月24日

日本のGDP 物価、交易(1)

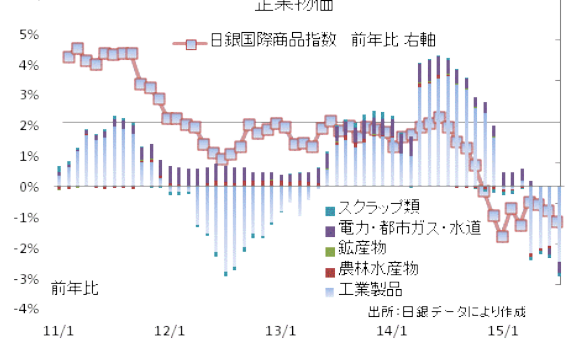
図表1



図表2



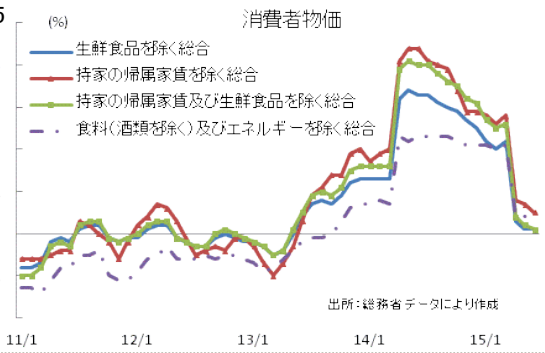
図表3



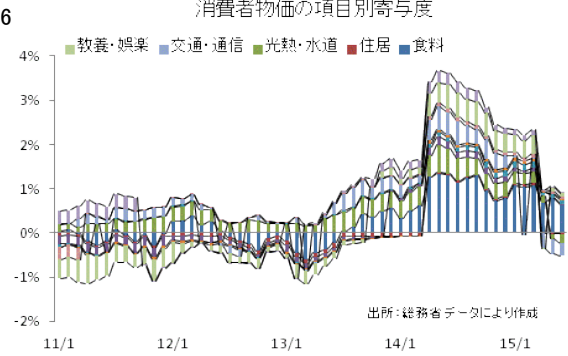
図表4



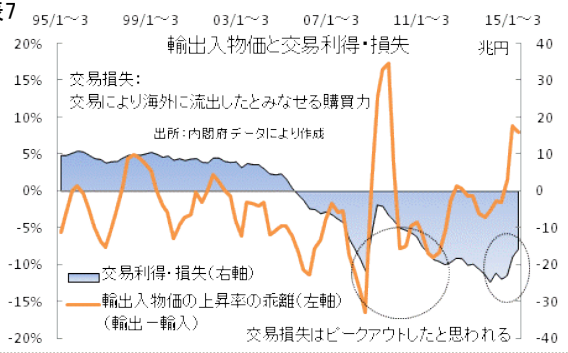
図表5



図表6



図表7



4~6月期の実質GDP成長率は市場予想を上回ったものの、民間消費や純輸出の減少が影響し、3期ぶりにマイナス成長となった(図表1)。物価の動きを示す代表的な指標であるGDPデフレーターは、消費増税の影響が剥落した4~6月期には輸入の影響は弱まり、全体では+2%(前年同期比)を下回る水準に低下した。GDPデフレーター低下の背景には消費税要因以外にも原材料価格下落の影響が大きいと考えられる(図表2)。これを企業物価の動きからみると判別しやすい。ここでは工業製品価格の下落が大きく、中国の需要減少や国際商品市況の悪化が原因とみられる(図表3)。上昇が期待されている賃金指数についても2010年の水準を下回った状態である(図表4)。消費者物価についても食料以外の項目が低位で推移しており、総合では+0.4%(前年比)とゼロ%近辺にある(図表5、6)。物価については賃金上昇が遅れる中、想定外だった資源エネルギー価格の下落もあって、足元では上昇していない。しかし以下の点からデフレへの逆行はないと思われる。

- ・原材料価格の下落は日本経済にとってはプラス面が大きく、経済全体での浮揚効果が見込める
- ・GDPギャップ(内閣府推計)のマイナス(マイナスの超過需要)が急速に縮小しており、デフレからの脱却が進んでいるとみられる(図表2、面グラフの部分)

一国全体の購買力を示す交易条件は、輸出物価の上昇により急速に好転(交易損失の急減)している(図表7)。消費者物価についても構成の異なる複数の指数を比較すると帰属家賃を含む指数は抑えられており、便宜的な数値である同家賃がテクニカルな抑制要因になっているようにみえる(図表5)。これまで日本を覆っていたデフレ圧力を強める要因だったマイナスの需給ギャップや交易条件が改善しているため、デフレ圧力は着実に後退していると考えられる。ただ、国際商品指数(日銀)は前年比でマイナス50%近い水準で推移しており、今後も注視される。

次号以降に続く

●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客さまの投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類(目論見書等)ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の判断であり、将来の運用の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客さま自身の判断でなさるようお願いいたします。